

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
71026	1	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)		英会話Ⅱ（ベーシックⅡ） (English ConversationⅡ)			
担当教員名		西山 幹枝／瀧口 美佳／戸田 博之／ピアノフスカ・マルタ			
授業の概要及び到達目標					
国際語としての英語運用能力は、グローバル社会においては欠くことのできないものである。この授業では、英語を使って他者の考えや意思などを理解し、自らの意見や意思を持ち、それを他者に自由に伝えることができるようになることを目指す。言語と文化の深い関係を理解し、文化事象の違いによる日本語と英語の発想の違いを、医療のトピックに絡めて英語を使い慣れるようにする。 英会話Ⅱでは、英会話Ⅰでの学習内容をさらに深め、聴解力と会話力の養成をする。さらにはテキストから学ぶ文法項目を、自分の立場や意見を交えて独自の英会話ができるように練習する。 英会話Ⅰよりもレベルを高く設定し、医療の現場での英語を使い慣れるための練習もする。また、上級英会話に必要な大学一般教養以上の英単語を習得する。					
準 備 学 習 等					
- 各教員から課題が指定された場合、期限を守って提出すること。 - 毎回の授業について、わからない単語等を中心に事前に辞書で調べて理解し、付属の音声教材も使用して予習しておくこと。 - 授業では積極的に自分の意見を述べるのが求められるので、普段から文化的関心事、さらには時事問題や医療保健問題に高い意識を持ち、自分の意見を用意しておく。 - 各クラスの進捗状況によって、教員が別途教材を用意することがある。 - テキストの内容については、学習を定着させるため定期的にテストを行うので、復習をすること。					
成績評価の方法	出席状況（30%）、テスト及び課題など(70%)を、総合的に評価する予定。				
テキスト	Vivian Morooka / Terri Sugiura, Vital Signs (Revised Edition), 南雲堂, 2018 年 [ISBN: 978-4-523-17868-2]				
参考図書	特になし。				
備 考	- 受講者は前期に開講される英会話Ⅰと同様の配属クラスに出席する。 - 担当教員については、事前に掲示板に発表されるので必ず確認しておく。				

	・ 第1回目の授業で、担当教員が授業の進め方・評価の方法の詳細について説明するので、必ず出席すること。 ・ 授業内容の詳細や試験については、各担当教員の指示に従うこと。 ・ クラスのレベルによって、テキストの進度変更の可能性がある。 ・ 授業時の欠席が5回またはそれ以上ある場合、単位は認めない。 (オフィスアワー) 授業終了後教室で質問を受け付ける。詳細は第1回目の講義にて連絡する。 非常勤の担当教員については、授業終了後教室で質問を受け付ける。
授 業 計 画	
第1回	Introduction: 授業についての説明や事前指導
第2回	Unit 1: Hospital Departments
第3回	Unit 2: Application Forms
第4回	Unit 3: Parts of the Body
第5回	Unit 4: Illnesses
第6回	復習と応用 : Units 1-4
第7回	Unit 5: Daily Routine
第8回	Unit 6: Hospital Objects
第9回	Unit 7: Locations of Hospital Objects
第10回	Unit 8: Hospital Directions and Instructions
第11回	復習と応用 : Units 5-8
第12回	Unit 9: Directions (Outside the Hospital)
第13回	Unit 10: Chatting with a Patient
第14回	復習と応用
第15回	総括